

事務事業名	給水装置設置資金貸付事業			担当	上下水道部 水道課 庶務係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市給水装置設置資金貸付要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57年度～）			
予算科目	12.水道事業会計	4.資本的支出	4.貸付金		1.貸付金	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	水道の利用を促進するため、給水申込者のうち工事費等の負担が困難な市民を対象とし、給水装置工事に要した経費に対し貸付を行う。 貸付限度額：30万円（無利子） 償還方法：20か月以内の期間において2か月毎の10回均等償還 【貸付条件等】 1.本市に居住、又は居住予定であること 2.市税等を完納していること 3.自己資金のみでは工事費等を負担することが困難であること 4.償還能力を有すること 5.連帯保証人を有すること							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 貸付制度のPR 市ホームページ、くらしの便利帳、広報誌等に掲載 2年度計画 令和元年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	PR回数	回	1	3	3	3	3
	イ	貸付件数	件	0	1	0	0	5
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 計画区域内水道未加入世帯	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	計画区域内水道未加入世帯	世帯	3,123	3,062	2,966	3,042	3,025
	イ ウ エ オ							
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 給水装置の工事費等を一時的に負担することが困難な市民に対し、経費の一部を貸付することにより、一人でも多くの市民に安全で安定したおいしい水を供給する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア		新規加入戸数	戸	607	502	472	414	350
イ ウ エ オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 清浄でおいしく、豊富で安全な水を安定供給する。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	給水人口	人	67,887	68,062	68,317	67,792	67,739
	イ	給水世帯数	世帯	25,401	25,912	26,427	26,636	27,048
	ウ	普及率	%	85.5	85.6	86.0	85.5	85.9
エ	水道水に満足している市民の割合	%	67.5	65.2	62.0	61.1		
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	300	0	0	1,500
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	300	0	0	1,500	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	8	24	10	8	24
		人件費計(B)	千円	33	100	42	32	97
トータルコスト(A)+(B)		千円	33	400	42	32	1,597	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	水道の利用促進を図るため昭和57年度より実施した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	銀行などの借入金利率が低いことや、新築の場合には住宅資金に含めて借入していることなどから、平成17年度から利用がなかったが、29年度は、自家水利用住宅を上水道に切り替えるために貸付制度が利用された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	貸付条件として保証人及び世帯全員の税の完納が必要のため、保証人（2名）を確保するのが難しい。